

モード Mode Mode は語る

中野 香織

フィンランドの「ヘヌア」

幸福度の高い国ランキングで5年連続1位を獲得しているフィンランドから、今夏、スキンケアライン「ヘヌア」が日本に上陸する。

シンプル・ラグジュアリーをうたう製品は天然成分をふんだんに使い、最低限のステップで高い効果を上げるように設計されている。テクノロジーと自然、アート、詩情が融合した端正な製品ラインは、すでに18か国で展開されている。

ブランド創始者のひとり、イェンニ・トゥオミネンさんが来日した機会に話を伺った。



製品の箱には製品を使う時に生まれる感覚が記されている。例えばビタミンオイルでは「人混みからしばし逃れる、静寂のひととき」

「ヘヌア」の意味は？

「フィンランドの生活に根ざす幸福感のことです。大切な誰かをハグ

ブランドで幸福感体現

した時のような、心満たされる感覚です」。伝統や地域の自然と共に生きるシンプルなライフスタイルを大切にする価値観が、ブランドの底流にある。「フィンランドにはあまりにも昔からある考え方なので、自国人はことさら意識しませんが」

あたりまえに恵まれているのでことさらに意識も向かないという余裕は、たとえば首相のサンナ・マリネ氏（36）を筆頭とする連立5政党の党首の装いにも表れている。5人すべてが女性でそのうちの4人が40歳以下だが、公務であっても拍子抜け

するほどカジュアルな装いが多い。気負わない自然な印象を与えている。「服装によって何かを語る必要がないからでしょう」とイェンニさんは分析する。

ワークライフバランスも達成され、ヘルスケアや教育の水準が高く、犯罪率は低く社会が安定している。そんな幸福は、女性にも若者にもチャンスが平等に与えられているという、「ごくあたりまえのこと」が保証される社会から生まれている。

「ごくあたりまえ」な大前提に到達する日が来たら、「女性であること」を背負いすぎる原色や白のスーツ、強いアイメイクという武装も、時代遅れな鎧（よろい）に見えてくるのだろう。